

Taka Gikai

多可町議会だより
2016年(平成28年)11月1日 第44号

輝



9月定例会

- ・子宮頸がん予防ワクチン接種後の症状発症者に対する救済支援を ▶7
- ・こんなんでない これどうなってるの 11人が一般質問 ▶8
- ・人のぬくもりを感じられる町 ▶22

写真：平穏無事を祈って舞う巫子神楽
—安田稲荷—

人のぬくもりを感じられる町

多可町定住コンシェルジュ

小 椋 聡 さん
朋 子 さん

平成25年多可町に移住。
古民家を改築。3年かけて、
人が集まれる場所をとギャ
ラリーを作られました。

☆多可町での暮らしは

平成28年9月から、ご
夫婦に多可町定住コンシ
エルジュをお願いしてい
ます。そこでお二人にお
聞きしました。

聡さん

人が温かいです
ね。良い意味で干渉せず
しかし、しっかりアドバ
イスもサポートもして頂
けます。外から来る人に
対して、大らかな感じが
します。

多可町で暮らすと、
周りから色々なアドバイ
スやサポートが来るので、
安心感があります。

朋子さん

最初は移住に
反対していたのですが、
今ではすっかり気に入っ
ています。

すっかり多可町が
気に入った朋子さんと

☆定住コンシェルジュ としての具体的に何を されるのですか

多可町の魅力を語る小椋さん



多可町の魅力を語る小椋さん

聡さん

田舎暮らしをし
たいと訪ねて来られた人
の希望を聞き、多可町の
良いところなどの紹介を
しながら、空き家なども
紹介します。古民家を改
築したギャラリー「スロ
コ」の体験談などもお
伝えしています。

先日も阪神間から女性
がお二人来られました。
多可町をとて気に入っ
て頂き、移住の検討もし
て頂いています。

また、定住推進課の職
員と一緒に多可町中を見
て回り、空き家の現状を
目の当たりにしました。
空き家を活用すること
は、子どもや孫の世代に

良いことだという気持ち
を持ってほしいと思っ
ています。

空き家を活用させるこ
とが、地域の人たちから
「良い事をしたね」と言
ってもらえる文化を、し
っかり根付かせることが
大事ですね。

私たち以上に多可町に
魅力を感じておられる小
椋さんご夫婦。
移住定住促進のために、
多可町の魅力をたくさん
発信して頂きたいですね。

(廣畑)

編集後記

「あついあつい」と汗
をかきながら、八千代北
仮本庁舎に引っ越したの
が昨日のようです。
緑に囲まれた庁舎周辺
には、キノコが沢山生え
ています。

日本人は、世界有数の
キノコ好きだといわれて
いますが、「茎が縦に裂
ければ安全」、「ナスと煮
れば毒が無くなる」など
という迷信を信じる人も
多いようです。

野生のキノコは、写真
を撮ったり、スケッチで
楽しむのがいいかもしれ
ません。

熱い鍋料理が恋しい季
節になりました。

冬將軍が来る前に、寒
さ対策をしっかりと願ひ
します。

ご自愛を。

(大山)

発行 / 多可町議会 編集 / 議会広報編集特別委員会

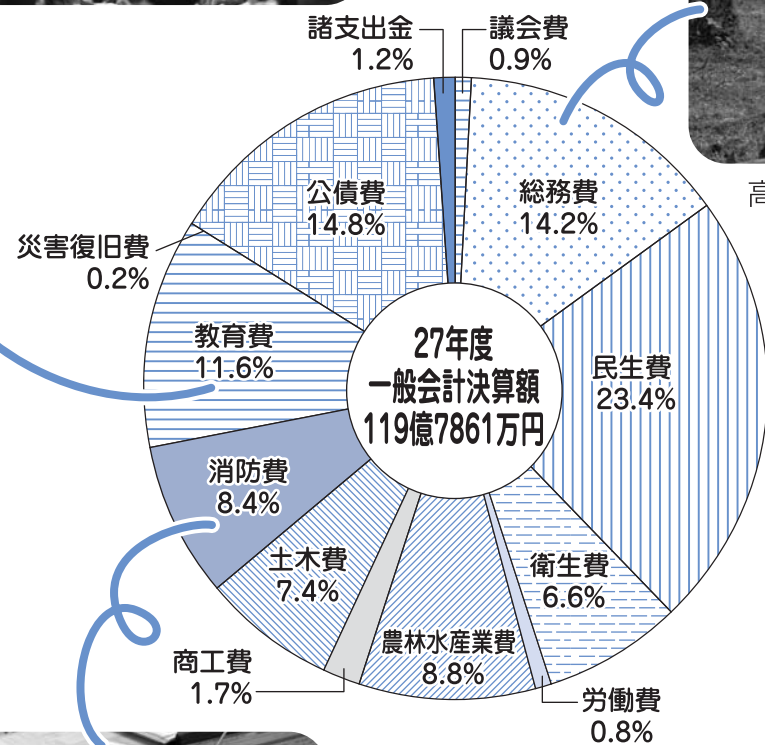
兵庫県多可郡多可町中区中村町123 TEL/0795-32-4775 FAX/0795-32-4969
多可町議会ホームページ / <http://www.town.taka.lg.jp/gikai/>

全会計に

において黒字決算認定



高台から町を見護る
チェンソーアート
ー ラベンダーパーク 多可 ー



27年度の主な事業

地方創生交付金事業	・ふるさと旅行券助成事業 ・健康保養地事業 ・創業支援事業 ・町内産木材を活用した観光振興事業ほか	1億1396万円
防災行政無線デジタル化	各家庭の個別受信機をデジタル無線機に交換	4億8600万円
八千代小学校統合改造工事	旧八千代南小学校の改造工事	3億4350万円



電話で録音して情報をお伝えしています

収入 地方消費税交付金が1億5800万円増えました。また八千代小学校統合や新庁舎建設のための新規借入れ（内7割は国が返済金を交付）もしたので、前年比5億4268万円増の122億7987万円となりました。

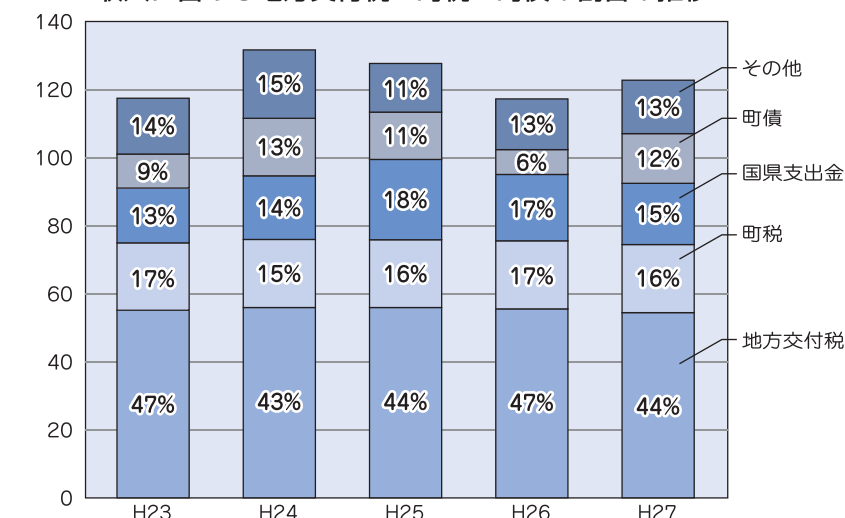
支出 防災行政無線のデジタル化に伴う受信機の交換や、八千代小学校統合改造工事に取り組んだ結果、支出は前年比4億1317万円増の119億7861万円となりました。

9月5日から10月13日までの39日間の日程で、第71回定例会を旧八千代北小学校を改装した「八千代北仮本庁舎」で開催しました。

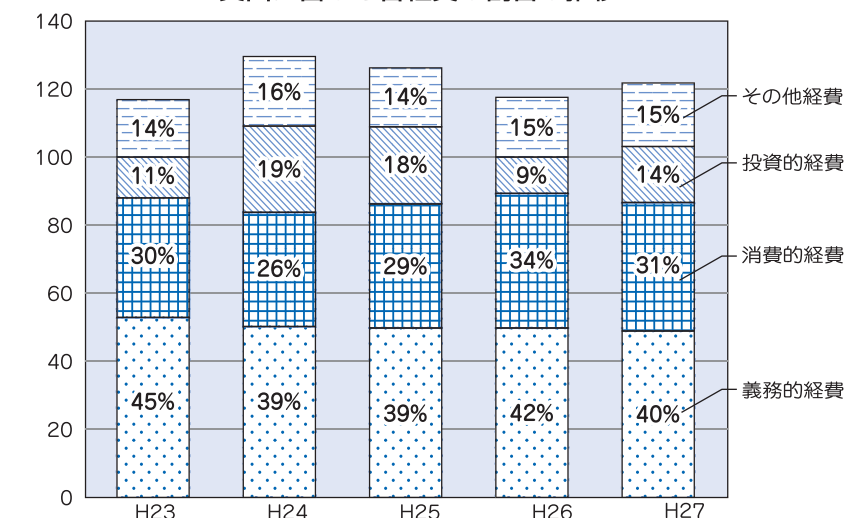
今期定例会には、議員提案の「子宮頸がん予防ワクチン接種後の症状発症者に対する早期の救済支援・治療法の確立等を求める意見書」や27年度各会計決算認定、28年度各会計補正予算、「敬老文化」のまち宣言などの12案件が提案され、いずれも原案のとおり可決、承認、認定しました。

9月定例会

収入に占める地方交付税・町税・町債の割合の推移



支出に占める各経費の割合の推移



町の財政状況はどないなっこん

27年度は、2年続いた単年度赤字から脱却し、実質単年度収支も9797万円の黒字となりました。

しかし人口構成の変化による税収減が予想され、減が最重要課題となっています。

27年度は、2年続いた単年度赤字から脱却し、実質単年度収支も28年度から段階的縮減が始まるので、財源の確保と経費削減が最重要課題となっています。

駐車場の有料化を検討せよ

決算委員会は、9月5日から10月4日の7日間にわたって開催しました。委員会では、218件の質問が出されましたが、その一部を紹介します。

町営となった多可町北播磨余暇村公園には、毎年約1850万円の費用

が掛かっています。

27年度の来場者数は、13万710人にもなりました。委員会では余暇村公園の維持費を捻出するために、来場者に協力をお願いすべきではないかとの議論になりました。

現在入口に協力金（募金）箱が設置されて



協力金をお願いします
— 多可町北播磨余暇村公園 —

いますが、その収入はいくらですか。

27年度は、18万1577円の募金がありました。

1回100円程度の駐車場代としてはどうですか。そうすれば200万円以上の収入になるのでは。

有料駐車場にするためのゲートの設置工事費や、その維持費に費用が掛かりメリットがないと考えます。

ゲートなど設置しなくても、現在置いてある協力金（募金）箱を駐車場代投入箱に変えるだけでも、多くの人が駐車場代を投函してくれると思います。費用の掛からないことなので、すぐにも取り組むべきです。

条例改正も必要なので検討をします。

遊戯室にエアコンの設置を



暑い暑い遊戯室
— 旧中町幼稚園 —

旧中町幼稚園の遊戯室は、就学前の教育施設として5歳児交流事業や子育てふれあいセンターで計画的に使用しています。

議会では、この遊戯室へのエアコンの設置を求めました。

遊戯室は多くの子どもたちが利用していますが、エアコンがありません。夏は暑くとも利用できません。なぜエ

ンを設置しないのですか。旧中町幼稚園の遊戯室には、天井扇を6台設置しています。

また、キッズランドやちよの遊戯室にも空調設備が無く、壁掛扇風機を4台設置し使用しています。

近年非常に暑くなっていますので、設置に向けて検討します。

ハーモニーパークの有効活用を



ハーモニーパークを活用した村づくり

指定管理施設は全部で33施設あり、その管理料は年間1億9000万円余りにもなっています。毎年この指定管理料の是非が議題になります。特に今期定例会で議題になったのはハーモニーパークでした。

ハーモニーパークは、農林業公社が管理をしている三谷にある果樹園を中心とした施設です。

町長は以前、「ハーモニーパークの廃園を含めてあり方について検討

する」と表明されていますが、今後どうするのですか。

地元集落とも協議をしています。その中で地元集落もハーモニーパークを有効活用した「村づくり」に取り組んでいた

今後の推移を、今しばらく見守りたいと思います。

指定管理料を、減らさんかためだけの地元への運営の押し付けになっていませんか。そもそもハーモニーパークには、都市との交流や地域経済の活性化という役割が課せられています。町として、その役割を果たせるよう努力するべきでは。

ラベンダーパーク多可などの施設と連携を深め、三谷集落の取り組みの一助にもなるように施設運営をしていくよう指導します。

反対討論

税の滞納は行政の怠慢

草別 義雄

27年度の納税総額は、約21億円ですが、約1億2000万円が未収入のままです。徴収を放棄した額も76万円余りにのぼり他の保険料や使用料との合計は、471万円にもなります。税の滞納は、行政の怠慢の表れです。

賛成討論

必要な事業は果敢に進めよ

山口 邦政

町の借金の比率は、15・3%と0・5ポイント悪化していますが、この水準なら特段の心配はありません。

行革は大事ですが、必要な事業は、積極的に進めなければなりません。27年度事業は、すべて必要な事業です。

第71回多可町議会定例会 賛否の公表 (全員賛成の議案は除く)

番号	案 件 名	笹倉政芳	安田昇司	藤本英三	大山由郎	山口邦政	吉田政義	橋尾哲夫	日原茂樹	廣畑幸子	辻 誠一	草別義雄	市位裕文	清水俊博	河崎 一
認定第1号	平成27年度兵庫県多可郡多可町各会計歳入歳出決算認定	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	—

○印は賛成、×印は反対、欠印は欠席、除印は除斥。 河崎一議長は賛否同数の採決以外は採決に加わりません。全議案は議会ホームページ (<http://www.town.taka.lg.jp/gikai/>) に掲載しています。

「敬老文化」のまち宣言

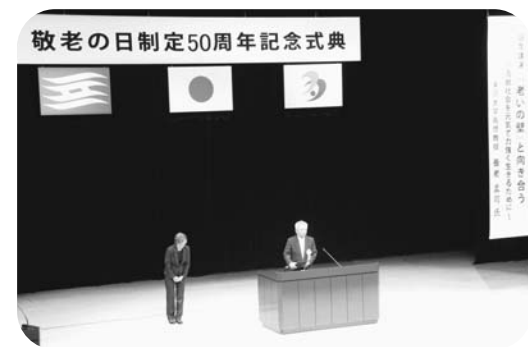
「敬老の心 今も尚 高らかに」

国民の祝日「敬老の日」制定50周年記念式典を9月15日、秋篠宮同妃両殿下ご臨席のもと開催しました。

約500人が出席した式典では、敬老のうた「きつとありがとう」を中町中学校の3年生が合唱し、八千代小学校6年生の代表者が祖母に宛てた感謝の手紙を朗読しました。

この後、戸田町長が「すべての世代がお互いに助け合い、笑顔あふれる多可町をめざす」との「敬老文化」のまち宣言を発表しました。

議会では、これに先立つ9月5日に「敬老文化」のまち宣言を全員賛成で可決しました。



支える一員としていつまでも元気で活躍」「すべての世代がお互いに助け合う」という文言も盛り込まれています。

多可町の高齢化率は33パーセントに達しています。『敬老文化を進める運動』をこの多可町から始め、全国へ発信していくことが大事です。

国は迅速な対応をとれ

9月5日の本会議初日に廣畑議員他1名より「子宮頸がん予防ワクチン（HPVワクチン）接種後の症状発症者に対する救済支援、治療法の確立等を求める意見書について」の議案が提出されました。

子宮頸がんの予防効果を期待され、10代の女性を中心に338万人以上が接種した「子宮頸がん（HPV）ワクチン」。2009年に承認、その後、定期接種化されました。

ところが、接種後、原因不明の体の痛みなどを訴える人が相次ぎ、定期接種化から2カ月で国が積極的な接種の呼びかけを中止する異例の事態となりました。

国はこれまで、実態が明らかになっていないと

補正

1市1町でごみ処理を目指す

ごみ処理基本計画

51万円

新たなごみ焼却施設の建設に向けて、環境保全審議会でごみ処理基本計画の内容を審議します。

また、新ごみ処理施設整備の先進地調査も実施します。

危険空き家の撤去

特定空き家等除却補助金

133万円

町内の危険空き家の撤去費用です。

地域の安全確保

豊部治山工事

200万円

町道豊部熊野部線の道路沿いの斜面から落石があり危険であるため、斜面にブロック積工事をします。

もっとたくさん

ふるさと納税してネ

楽天ふるさと納税システム手数料 270万円

ふるさと納税をさらに増やしていくため、新たに楽天ウェブサイトを使用

歳出 9月補正予算

款	9月補正	補正後の額
議会費	△1万円	9979万円
総務費	9332万円	20億0725万円
民生費	1418万円	30億6522万円
衛生費	△1122万円	8億3206万円
農林水産業費	△285万円	11億7659万円
商工費	73万円	1億9958万円
土木費	△542万円	10億6148万円
消防費	50万円	6億8620万円
教育費	68万円	13億2941万円
諸支出金	3005万円	1億8306万円
歳出合計	1億1996万円	125億5894万円
特別会計	2358万円	73億7418万円

*予算金額は補正のあった科目のみです。合計は現予算の総計です。

補正後の額は特別会計全会計の合計です。

賛成討論

救済のための医療費支援は必要

廣畑 幸子
子宮頸がんワクチンの副作用で苦しんでいる被害者への救済措置は、国が救済するまでの間、町として対応すべきです。

被害者やその家族の皆さんの不安を払拭し、治療して頂くためにも、医療支援は必要なことです。

1日も早い救済

子宮頸がんワクチン接種後の症状に対する医療費支援 470万円

子宮頸がん予防ワクチンの接種後に、原因不明の痛みやしびれ、脱力、不随意運動などの症状があり、日常生活に支障が生じている人に医療費支援をします。

賛成討論

国は一日も早く救済措置をとれ

日原 茂樹
子宮頸がんワクチンは、定期接種として始まりましたが、その後遺症に苦しむ人が全国にたくさんいます。厚生省が積極的勧奨をしたワクチン接種による被害ですから、国として一日も早く救済措置をとるのは当然です。

意見書

- ①国による恒久的支援の構築や既存の社会福祉サービス利用のための認定（症状に対する医療費の無償化、難病や特定疾患・障害者手帳の認定など）
- ②健康被害救済の手続きの簡略化、及び迅速な審査の実施
- ③疫学調査の早期実施、及び被害者の症状回復にかかる治療法の研究
- ④医療分野における厚生労働省職員や医師、患者による対策検討会の設置
- ⑤個々のニーズに応じた教育機関の対応・就労支援など相談体制の確立
- ⑥被害者の多様な症状把握等に対する医師・教員・行政職員等の研修機会の充実



大山 由 郎 議員

問 障がい者への配慮は万全か
答 体制の整備・連携を強化する

大山

今年施行された

「障害者差別解消法」では、障がい者の特性に応じた「合理的配慮」が自治体に義務、民間事業者には努力義務が課せられました。

特に災害時は、命に関わる非常事態であり、障がい者に対し「忙しいうら対処できない」では済みません。

①「障害者差別解消法」では、行政機関に障がい者への「合理的配慮」を義務付けています。多可町の防災施策に「合理的配慮」は盛り込まれていますが、その詳細と活用方法は。

②兵庫県内では、明石市が「障害者配慮条例」を施行し、他の市町でも条例の施行を検討していますが、町は「配慮条例」の検討はしていますか。
③防災時の備品の充実、一人ひとりの要望に合わせた、災害時の個別「支援計画」作成などの整備



夜間に文字が光るので災害時にも役に立ちます

町長

は、各自治体の裁量に委ねるとされていますが、多可町は「支援計画」の検討はしていますか。

避難行動要支援者名簿の整備、防災関係部局と福祉関係部局との連携強化、福祉避難所の見直し、災害時要援護者に配慮した防災訓練の取り組みなどで対応しています。

②「配慮条例」の検討は

「地域防災計画」の中に、障がい者への配慮は含まれていますので、新しく条例を制定するのではなく、各施策で法の理念を尊重し必要な配慮をします。
③個別の支援プランの作成を急いでいますが、避難支援に大きな力になるのは地域の支援です。
町では、自主防災組織の行動計画の作成を推進しながら、支援体制の充実強化を進めています。
今後は、より実効性の高いものとなるよう、民生委員、各関係部署との連携を強化し、「避難支援計画」や見守り体制の整備をします。

こんなんでない
これどうなってるの



9月定例会での一般質問は、9月29日と30日の2日にわたって11人の議員が行政全般について質問しました。

※内容は次ページからですが、紙面の都合上カットしている質問があります。

全文は [多可町議会](#)

検索



質問議員	質 問 要 旨	掲載ページ
大山 由 郎	障がい者への配慮は万全か	9
橋 尾 哲 夫	小中一貫教育の早期導入を	10
	防災計画の充実策について	
山口 邦 政	播磨国風土記を観光事業に	11
	財政状況の現状と今後を問う	
藤 本 英 三	色覚障がいに対する配慮は	12
	町税の1%支援制度を導入せよ	
安 田 昇 司	県教育委員会に負担を求めよ	13
	誰でも農家にもなれる町に	
辻 誠 一	職員526人の監督管理は	14
廣 畑 幸 子	ごみ処理施設を創エネルギー施設に	15
日 原 茂 樹	地域の体育館などの使用はどうか	16
	コミュニティ・スクールの推進に取り組み	
吉 田 政 義	多可町で夏フェスの開催を	17
	多可町いいところ冊子が必要	
笹 倉 政 芳	高齢社会に備えよ	18
	持続可能な自治体を目指せ	
草 別 義 雄	安全・安心な道路を確保せよ	19
	調理委託で良いのか	
草 別 義 雄	キッズランド民営化で良いのか	19



橋尾 哲夫 議員

問 小中一貫教育の早期導入を
答 小中一貫教育研究校に指定する

橋尾 八千代小学校と八千代中学校の早期一貫校を実施すること。近隣の市の小野市では28年度から市全域に実施されました。その目的は9年間の教育目標を共有し、発達に応じた一貫教育、2点目は中1ギャップに着目した小中連携し、9年間の一貫教育推進をすることです。

教育長 八千代小学校と八千代中学校を小中一貫教育研究校に指定し、小中一貫教育について研究しています。小・中学校の教職員が交流し義務教育9年間を見通した活動をお願いします。多可町教育方針で述べていますように、小中一貫教育の導入に向け取り組みを進めています。

橋尾 9月1日は防災の日でした。山崎断層帯が動けばM8で震度7強

問 防災計画の充実策について

以上といわれています。防災計画を再度見直し、多可町は防災計画での自立性を高める受援力を磨くことです。自然災害から人命を守ることは地域社会のあり方に左右されます。

町長 受援力という言葉は熊本地震以降知りました。熊本県に職員を派遣しました。受け入れ先の体制が重要なものを知りました。大規模災害時は災害対策本部を設置し、全庁挙げて対策に取り組みます。支援を円滑に受け入れるためには、基本的な考え方や留意点を示す受援計画を事前に作成しておくことで、応援要請が可能になります。

橋尾 播磨国風土記は



播磨国風土記に登場するあまんじゃこ — 奥中の長石 —

答 風土記や古事記を研究する

町長 託賀郷は播磨国風土記には記述は非常に少ないので研究する材料も乏しいです。風土記のみではなく、古事記などの研究で観光資源を掘り起こします。

が、ほとんど手を付けられていないのが実態です。抜本的にメスを入れたいと思います。

問 色覚障がいに対する配慮は

山口 日本人では男性の20人に1人、女性の500人に1人の割合で色覚に異常がある人がいるといわれています。単純

計算では町内に約550人がおられることになります。ハザードマップや広報、窓口での書類などの公文書や公共施設の看板など、行政運営の中で色覚障がいの人に配慮した運営ができていますか。また、15年度に学校の定期健康診断から削除され、26年度から希望者に検査を実施するようになった

答 十分な配慮ができていない

町長 残念ながら色覚検査の重要性を十分説明できていますか。

教育長 27年度から色覚検査を希望者に実施しています。27年度は小学1年生と中学生の全学年。28年度からは小・中学生の1年生に実施しています。昨年度の受診率は小学生で91%、中学生で60%となっています。



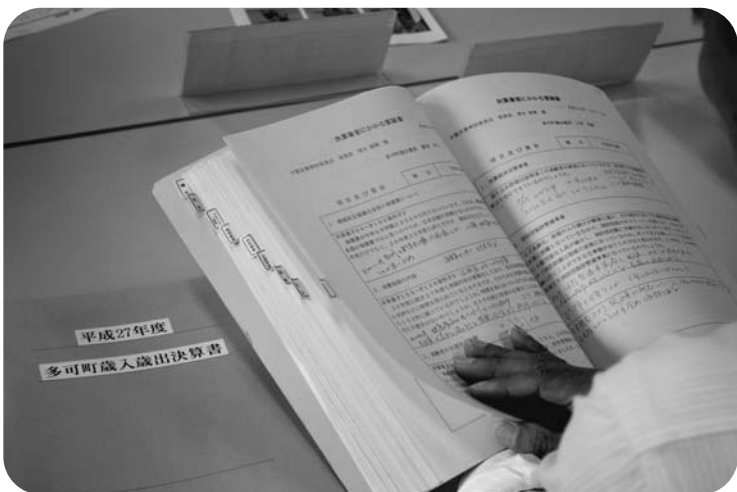
山口 邦政 議員

問 財政状況の現状と今後を問う
答 楽観できる状況ではない

町長 数字だけ見れば良好な方向と見えますが、決して楽観はできないと思っています。今後は一部事務組合での消防・ごみ処理などにかかる経費の増大、下水道事業の統合などがあり、繰出金が確実に増加します。一層の行財政改革を進めます。

なお、実質公債費比率は30年度近辺で16・7%がピークとなり、大きなプラスにはならないと考えています。

指定管理料の削減です



毎日決算書とにらめっこ

保護者の皆さんに、意義や重要性を十分に理解していただくように説明していきます。



安田 昇 司 議員

問 誰でも農家にもなれる町に
答 農業委員会は柔軟な個別対応

安田 各集落を見ますと空き家と遊休農地（荒廃農地）が続出しています。少子高齢化が進む中で、空き家・荒廃農地対策はままならない状況にあります。これの一助として「誰でも農家にもなれる町」を目指してはと考えると、農地の持っている農業委員会が難しいのかなあ、と思っていました。たかテレビを見ていると、農地転用にも農業委員会は柔軟な対応をされる姿勢だと分かりました。これなら行政がしっかり明確な姿勢を打ち出せば、穴栗市や加西市以上の条件での「誰でも農家にもなれる町」を目指すこともできると



いつも家庭菜園を楽しんでいます
— 阪神間から門田に移住されたTさん —

町長 本町も空き家バンクを管理する定住推進課から同様のことを農業委員会に申し

出で、農業委員会からは、事例があれば柔軟に個別対応するという返事をもっています。私も、誰でも農に親しめる町は、いいキーワードになるこの思いは持っています。

町長 分庁舎方式の中で、油断による事故を起こさないように気をつけています。月曜例会を幹部職員で実施しています。危機意識を持って対応します。

問職員526人の監督管理は
安田 正職員234人、嘱託等職員292人、総数526人の役場は、多可町最大の職場と考えます。9月から全ての課が仮庁舎での分庁舎となっていますが、こんな時は想定外の事故も懸念されます。職員および重要書類、備品などの監督管理はどのようにしていますか。
答危機意識を持って対応



藤本 英 三 議員

問 町税の1%支援制度を導入せよ
答 果たして導入しても良いものか

藤本 自分が収めた町民税の1%を、町内で活動されているボランティア団体やまちづくり団体などに資金面で支援する制度です。
税金イコール「高い」「取られる」というイメージを持つ人や、具体的にどのように使われているか判らない人や、無関心の人も多いようです。自分で税の使い方を決めることができれば納税意識の高揚にもつながります。また、ボランティア団体やまちづくり団体の活動にも関心が高まり、自分もその団体に参加したいという意識にもつながりますし、町政への関心も高まります。

町長 前向きな制度だと思いますが、住民が等しく参加できませんし、支援額にも隔たりができ、支援団体の事業の透明性など制度の公平性を、どうやって担保するかが課題です。全国

問県教育委員会に負担を求めよ
藤本 町道岸上特別支援学校線の拡幅工事が、26年度から計画され、設計・測量・文化財調査も終了し、いよいよ今年度から町単独事業として工事着工の運びとなりました。圃場整備によってできた道路なので、幅員が4メートルしかありません。本来、北はりま特別支援学校開校と同時に兵庫県教育委員会が拡幅工事を実施すべき道路でした。よって、この度の道路改良工事費の一部負担を県教育委員会にお願いすべきです。



ぞくぞく通過する送迎バス 県も費用を負担すべきでは

町長 本町道は、集落や学校の懸案の道路ですので、早急に完成するように取り組んでいます。まず、北はりま特別支援学校のほうから県教育

答再度時期を見て要望する
委員会のルートで要望してほしいとお願いましたが、「なかなか難しい」とのことです。工事完成まで2年ほどかかりますので、機会がある度に要望します。



吉田政義議員

問 多可町いいところ冊子が必要
答 今年度中に作成する

吉田 多可町には、人口減少・少子高齢化などの大きな課題があります。課題解決としては、「子どもから高齢者までが、安全・安心に暮らせる環境が整った町」「環境面でのサポートのほかにも、医療面や金銭面での制度が手厚い町」「定住促進のための住宅施策、子育て支援施策、就業支援施策の整った町」であることです。

多可町には「安全・安心」「産業」「暮らし」「子育て」「教育」などに他市町には決して引けを取らない施策・支援制度がたくさんあります。

しかしながら、施策・支援が住民には、見えていないと思います。認知度が低いと思います。知っている人だけが得をする、知らない人は損をする、周知を徹底すべきです。

「住むなら絶対多可町」をフレーズに、多可町の



さらに分かりやすい冊子を

いいところ情報・支援策のすべてを掲載した一目瞭然の冊子を作ってはいかがでしょうか。移住定住・結婚・安心して伸び伸び子育てのできる指針にもなります。

町長 町内の皆さんに現状の子育て支援策を知っていただくこと、また町外の皆さんにもアピールしていくことが重要だと認識しています。

子育て支援策は、町内に住所があれば、担当課で把握をして、優遇制度を適用するようにしていますので、町内では知らずに損をされる人はないと思います。

多可町に住めば、「子育てに関して、このような支援を受けることが可能です。プラチナタウン多可町を目指して頑張っています。」と、町外の人へ広くアピールしていくために、定住推進課とことも未来課が協力して、今年度中に、支援策を掲載したリーフレットを作成します。サービスが必要な人に、情報をお知らせできればと考えています。

多可町の良さを知っていただくための手法をいろいろ検討します。



日原茂樹議員

問 コミュニティ・スクールに取り組み
答 導入に向けて検討する

日原 コミュニティ・スクールは、保護者や地域の方が参画し、それぞれの立場で主体的に子どもたちの成長を支えていく学校づくり、地域コミュニティづくりを進めていくのが目的です。地域の力を学校運営に生かす「地域とともにある学校づくり」です。

多可町でもぜひ、コミュニティ・スクールに取り組むべきだと思います。学校や子どもたちが抱える課題や、家庭・地域社会が抱える課題を地域ぐるみで解決し、子どもたちの健やかな成長と質の高い学校教育の実現を目指す上で、コミュニティ・スクールを積極的に推進することが重要です。

教員 多可町では今、地域ボランティアなどの積極的な活用、学校評議員制度の活用、学校関係者評価委員会を活用する取り組みを実施しています。学校と保護

者や地域の皆さんとの連携体制を構築し、日々の教育活動を通して、地域とともにある学校づくりを進めています。

今後は、この取り組みをより一層発展させるため、コミュニティ・スクール導入は、非常に大きな役割を果たすと考えています。先進地の事例、また視察なども十分実施をして、導入に向けて検討していきます。

問 多可町で夏フェスの開催を
答 近年「夏フェス」が、多くの音楽ファンを魅了しています。全国規模の集客ができる巨大なフェスばかりではなく、地方都市が主体となるなど、多様な広がりを見せ、宿泊施設や飲食店などへの経済波及効果が見込まれ「町おこし」の一環として大きな役割を担っています。

夏フェスは、県や市町、



夏フェスで町おこし
大勢押しよせてくるよお～
ー モンスターバッシュー

観光協会が後援になっているものがほとんどで、自治体も地方活性化の糸口として捉えています。多可町も若者の定住につながる夏フェス開催を検討すべきです。

町長 夏フェスの財源をどこに求めるのか、主催はどうするのかなど、多くの課題があるように思います。

今後、多可町にとって必要な事業なのか慎重に検討する必要があります。夏フェスの実態を調査するところから始めます。

るのか、主催はどうするのかなど、多くの課題があるように思います。

今後、多可町にとって必要な事業なのか慎重に検討する必要があります。夏フェスの実態を調査するところから始めます。



草 別 義 雄 議員

問 調理委託で良いのか

答 直営では困難、民間の活力を活用する

草別 平成25年4月に統合給食センターを建設しましたが、今、調理業務を委託しようとしています。

学校給食は昭和40年頃から実施され、約50年の間には多くの児童生徒が給食を食べて育っています。

半世紀以上、直営であった給食事業の調理部門を民間に委託しようとしています。経営、運営の無責任な回避ではないでしょうか。

教員 平成25年に稼働開始した当初は、18人体制でスタートしました。その後、正規の職員と嘱託職員の組み合わせで早期の退職が続き、調理員を確保するのが非常に難しい状況が続きましました。

一時は給食を止めなければならぬのではと心配するような時期が続きました。

所長や栄養士が現場に

入り、調理を手伝うことで、何とか乗り切れたというのが実情です。これから先も難しい状況です。そのため検討委員会では、調理業務は民間に委託することが良いという結論を頂きました。

来々4月の民間委託に向け、今、委託業者の選定を進めています。

町長 両キッズランドを民間に移譲しようとしています。

「キッズランドかみ」 が竣工したのが平成23年3月です。「キッズランドやちよ」が竣工したのは平成12年3月です。

最近にできた施設です。まだまだ使えるものです。少子化の社会に大事な保育、教育施設です。町が運営してこそ価値があるものと思います。



組体操 がんばっています
— キッズランドかみ —

子ども・子育て会議で検討中

教員 両キッズランドの民営化は、多可町の行財政改革大綱に多可町就学前教育・保育に関する基本計画を受け多可町子ども・子育て会議で検討を進めています。

民営化を進める理由として大きく3つあります。

一つ目は、行財政改革の推進です。

二つ目は、民間活力の活用です。

三つ目は、認定こども園の推進と国・県の補助金の受給です。子どもたちにとって十分プラスになるように考えています。



笹 倉 政 芳 議員

問 高齢社会に備えよ

答 団塊世代に期待する



動き始めた地域コミュニティ絆力フェス 喜楽一 俵田

笹倉 団塊の世代が、後期高齢者になる2025年までに地域みんなを支え合う福祉交流の場として「空き家」を活用してはどうですか。また一線をリタイアされた人や元気な団塊の世代の人が地域で生きがいを持って働ける場を創出していくべきです。

町長 地域包括システムの構築は、介護サービス事業だけでなく、地域住民の見守りまで多種多様です。今後は地域コミュニティを充実するための拠点として、「空き家」を活用することができればと思います。また、地方創生事業こそ雇用場が出てきます。農林業から観光事業までたくさんの人材が

必要です。団塊の世代の皆さんに期待を寄せています。

問 持続可能な自治体を

目指せ

笹倉 高齢化と人口減少が進み、扶助費や特別会計へ繰り出しが増え続けると思われます。今後は民間を巻き込んだ新しい公共など、自主財源の乏しい多可町が生き延びる道を真剣に考え、実行していくべきです。

答 行財政改革を断行する

町長 第3次行財政改革大綱では、行政サービスの見直しと民間活力の導入をすべしとしており、その姿勢で行財政改革を断行します。今後は高齢者福祉の部門や地域公共交通の部門が特に必要と思います。公の補完に地域、集落、NPO法人などが声を上げていただけるか、そして

問 安全・安心な道路を確保せよ

笹倉 町道「多田三谷」線は急勾配で道幅の狭い所や、見通しの悪い危険箇所が点在しています。集中豪雨や地震に見舞われれば、道路が寸断され、集落は孤立し、救援復旧などに大きな支障が生じると考えられます。

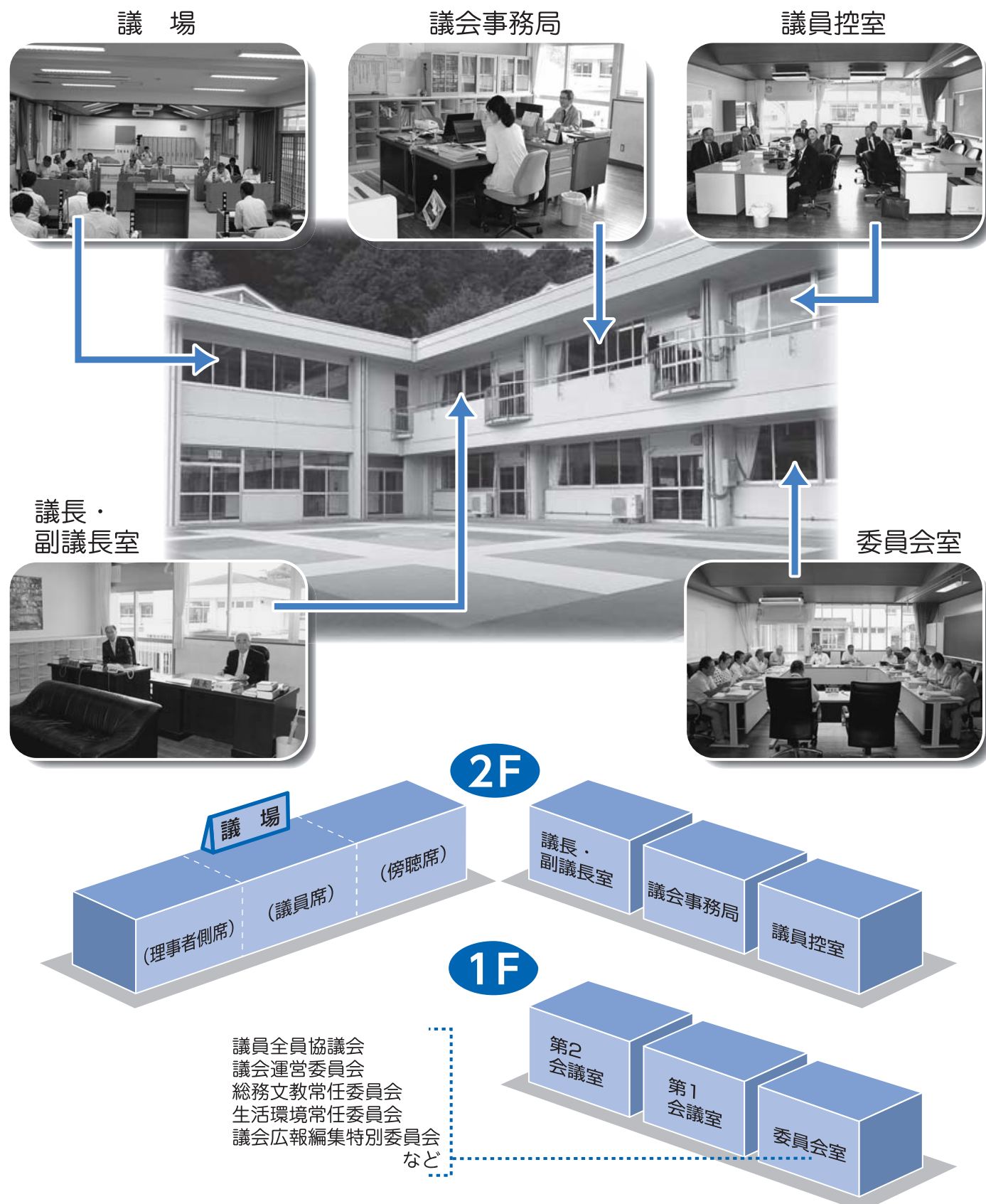
答 地元と調整し検討する

町長 全線の道路整備は難しいと思いますが、危険箇所の改修と部分的な拡幅から検討します。

建設課長 地元の意見をお聞きしながら計画を策定し、進めていく必要があると考えています。今後地元の協力を得ながら調整し検討します。

議会配置図

平成28年8月より議会も八千代北仮本庁舎に移転しました。
気軽にお越し下さい。



目指せ読みやすい広報紙

定例会ごとに年間4回発行している議会だよりは、広報委員に任命された6人で作成しています。議会だよりの発行も11年。読みやすさの指標として、毎年県や国の「広報紙コンクール」に応募

してきましたが、さらに読みやすい広報紙を作るために、平成28年8月8日に(株)兵庫ジャーナル社の黒岩英孝社長を訪ね研修を受けました。



黒岩社長に個別指導を受けました

インパクトある見出し わかりやすい文章

講義の中心は、「インパクトある見出し」と「わかりやすい文章」でした。

見出しは、記事への「導入」という役目だけでなく、見出しだけ読んで中身を「理解」できるものに、とのこと。

また文章は、何も知らない人が読んでも理解できるように、

- ① なぜそのことが「議題」になったのか
 - ② なぜそのような「議論」になったのか
- というストーリーが必要との講義はとても良い勉強になりました。

この研修を活かし、今後も議会だよりづくりに励みますのでどうぞよろしくお願い致します。

平成28年8月2日には、正副議長と議会運営委員会の7人は、神戸で開催された新潟県立大学准教授の田口一博氏の「議会マネジメント」の研修を受けました。

町からの提案を 審議するだけではダメ

田口准教授からは、

これからの議会は、町からの提案を審議するだけでは不十分。「自分たちの町をどんな町にするのか」という目標を持って、議員それぞれが得意な分野を分担して、調査・研究をしながら意見をまとめることが必要というものでした。

議会モニター制度や 出前議会も

また議会の調査研究には、「議会アドバイザー」などの制度を設けて専門家の知見を活用

議会としての まちづくりの目標設定を

用してはどうか、という提案や、もっと議会を知ってもらい、議会に対して誰でもアイデアを出しやすくするための「議会モニター」の導入や「出前議会」などのアイデアもいただきました。

まだまだ

議会改革道半ば

多可町議会では、「高校生議会」に取り組むなど継続的な議会改革に取り組んでいます。田口准教授の新しい視点からの「議会改革」への提案は、とても良い刺激になりました。

今後とも、皆さんにとって身近で役に立つ議会を目指します。